

令和7年夏の特別展

終戦

戦争の終わりと

戦後の始まり

令和7年 7月19日(土)～9月15日(月・祝)

土日祝日開館 ※8月25日(月)は休館

会場: 国立公文書館東京本館 1階展示ホール

入場無料・予約不要

<https://www.archives.go.jp/>



記録を守る、未来に活かす。

開催時間：午前9時15分～午後5時

期間中の毎週金曜日は、午後8時まで開館します。

協力 NHK

Facebook

X(Twitter)

YouTube

Instagram



独立行政法人

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2
TEL : 03-3214-0621

令和7年夏の特別展

終戦

戦争の終わりと戦後の始まり

令和7年（2025）は終戦から80年にあたります。昭和20年の日本では、悪化する戦況や、激しさを増す日本本土への空襲に対応して、疎開をはじめとする政策が実施されました。8月15日には終戦を告げる玉音放送が行われます。一方、終戦後、占領下の日本では、今日の社会にもつながる様々な改革が短期間に行われます。本展では、日本が大きな変化を迎えた年である昭和20年の出来事について、当館所蔵資料を中心にご紹介いたします。

鈴木貫太郎が
内閣総理大臣に任命される



4月

4月7日、鈴木貫太郎内閣が成立しました。画像は、鈴木貫太郎が内閣総理大臣に任命された際の裁可書です。

終戦の詔書 8月

ポツダム宣言受諾を表明した「終戦の詔書」は、8月14日の閣議において決定されました。翌15日には、昭和天皇による詔書の朗読がラジオで放送され、「玉音放送」として国民に戦争の終結が告げられました。画像は「終戦の詔書」です。

女性参政権の実現 12月

12月17日、衆議院議員選挙法が改正、公布されました。この改正により、20歳以上のすべての国民に選挙権が、25歳以上のすべての国民に被選挙権が与えられました。画像は衆議院議員選挙法を改正する法律が公布された際の閣議書です。

特別展関連イベント

特別展をさらに深く楽しめるイベントを企画中です。参加費無料。詳細は決まり次第、国立公文書館 HP、SNS でお知らせします。



「終戦の詔書」原本特別展示 展示期間：8月8日（金）～8月21日（木）

終戦の日（8月15日）を含む期間に原本を特別に展示します。この機会にぜひご覧ください。

夜間開館を実施します

会期中、毎週金曜日は午後8時まで開館します。お仕事、お出かけの帰りにぜひご来館ください。

音声ガイド 会場ではお手元のスマートフォン、タブレットから音声ガイドをお聴きいただけます。ご利用にあたっては、イヤホンをご準備ください。

予告：令和7年度第2回企画展 令和7年10月中旬～12月上旬

独立行政法人
国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL: 03-3214-0621
アクセス▶東京メトロ東西線竹橋駅下車[1b出口] 徒歩5分

